

# 活動報告書

番号

3

## 【団体の概要】

事業名： 里山整備&親子自然体験推進事業

団体名： アジロ山の自然と環境を守る会

## 【活動の概要】

長期化するコロナ感染の中ですが「森」の中で子どもたちが生き活きた自然体験が出来るように、地元住民と森林ボランティアの支援でゴミの山だった山を子供たちの声が聞こえる「宝お山」に変身させ市民に開放しています。

今期は長雨で生い茂った草や「アジロ自然の森」遊歩道の修復と、風で倒れた風濤木の除去などのチェーンソーや草刈り機などの使用手帳を要する作業は「こうち森林救援隊」に委託して行い、草引きや道の整備などはボランティアの協力で行い、市民や地域の子供も達が安心して山登りや自然体験が出来る環境整備を行いました。

参加者の体験型イベントを目指し10月には子供たちとの道の整備を行うイベントを企画。大雨や猪の被害で痛んだ「遊歩道」をスタッフのアドバイスで修理し、なぜ道が痛むのか、なぜ猪が道を掘り返すかなど対話しながら作業をし、子ども達は普段と違う行事に感動。森を散策して日頃の運動不足を解消していました。

又森の落ち葉に親しみ焼き芋体験をし、火を見た事がない子どもたちは「焼き芋」に大喜び。新聞紙でお芋を包み準備をし、お山の散策では落ち葉に触れながらキノコを見つけたりして自然を満喫。お昼ご飯を食べて午後から森の恵みを活用したストラップや竹のコップ作りを行いました。

整備された「アジロ自然の森」で元気に遊ぶ子どもの姿が高知新聞の子育て応援「ココハレ」に掲載されました。

## 【プログラム】

実施年月日： 令和3年10月3日(日)

場所： アジロ自然の森(高知市朝倉己1152-24)

日程：

開会でコロナの注意事項、「山の日」の補助金で運営されている事、森での注意事項を伝え、鍬などを持って山に。

大雨や猪被害で痛んだ遊歩道を直しながら、何故こんなに道が痛むのか？それは猪が掘り返してミミズを捕る為、石を掘り返し遊歩道を荒らす状況が多くなった、絶えず森を見回る事が大切など、こども達と対話しながら作業を行いました。

初めての体験作業で心配でしたが子供達は元気に丸太を運んだり、遊歩道に大きな石が転んでいてビックリしたりしながら痛んだ道をスタッフと直し、綺麗になった道を元気に上り森でキノコを見つけたりして自然を楽しんでいました。

午後は森の恵みを活用して思い思いのクラフトを作っていました。

10:00 開会挨拶

10:15 スタッフ紹介・日程の説明と注意事項

10:20 ◎森を散策

※遊歩道の整備体験

※森の散策をして自然体験を

12:00 お昼

13:00 ◎森の木を使ったストラップ作り体験

14:30 終了

募集地区： 県下

募集対象： 親子

募集方法： 暮らしの情報誌・インターネット・チラシ配布

参加費等： 1人200円

参加人数： 大人 10名

子供 14名

スタッフ 8名

外部講師 名

○マスコミ等での紹介例(あれば)

＜参加者＞

森の落ち葉と遊びながら自然体験が出来た。岩登りやブランコで運動不足を解消で出来た。猪がミミズを取る為大きな石を転がしているのにビックリした。猪がミミズを捕る為道を傷めているのが実感できた。大雨が降ると道に水が流れ痛むのがわかった。土に触れる事が出来て楽しかった。森を散策するだけでなく一緒に作業をすると子供の成長にとっても良い。スタッフのおじさん達が苦勞して道造りをしているのが良かった。もっと体験作業をしたい。

＜スタッフ＞

道造りなど体験型イベントは手間はかかるが子供とふれ合いが出来て良い。暑い中熱中症に負けず草刈りを行ったかいがあった。参加者に喜ばれるのがボランティアの生きがいだ。森の整備は大変だが元気な子供の笑顔を見ると喜びに変わる。リピーターのお母さん達が受付や後始末をしてくれて嬉しい。

実施年月日： 令和4年1月16日(日)

場 所： アジロ自然の森(高知市朝倉己1152-24)

日 程：

開会で「山の日」の事業である事やコロナの注意事項、山での注意事項を行い開催しました。山に登る前にみんなで芋を新聞紙で包み水に濡らしホイルで包み、焼き芋が出来のを楽しみに森へ、1才位の幼児コース・元気なリピーターなどのコースに分かれて森の落ち葉や生き物を見つけたり、木や岩に登りブランコに乗ったり、洞窟探検やコウモリ観察などで体感して大満足でした。午後は、自然の素材を使った竹の太鼓・木の鉛筆・鉛筆立てやストラップ作りを行いました。

10:00 開会挨拶

10:15 スタッフ紹介・日程の説明と注意事項

10:20 ◎森を散策

※みんなで焼き芋の準備を

※森の散策をして自然体験を

12:00 お昼

※焼き芋を食べながら昼の食事を

13:00 ◎竹の太鼓・木の鉛筆やストラップ作り体験

14:30 終了

募集地区： 県下

募集対象： 親子

募集方法： 暮らしの情報誌・インターネット・チラシ配布

参加費等： 1人200円

参加人数： 大人

20名

子供

41名

スタッフ

11名

外部講師

名

○マスコミ等での紹介例(あれば)

高知新聞子育て応援ウェブメディア「ココハレ」

○感想

＜参加者＞

焼きいも体験は普段火を見る事がない子ども達が火の大切さを知れた。美味しい焼き芋を食べれて嬉しかった。今日一日親子で外で過ごせて良かった。子どもたちはゆっくりと自然を観察しながら、岩登りやブランコに乗ったりして日頃の運動不足を解消して大満足顔でした。自然の中に遊具があり子どもが楽しめる。竹の太鼓作りが楽しかった。山で遊ぶのが初めてでとても新鮮だった。山の歩き方が上手になってきた。子どもが楽器が好きなので本当に喜んでいる。

＜スタッフ＞

森の木を使った木の鉛筆・竹の太鼓などの「クラフト体験」は準備が大変だが喜ばれる。コロナで心配したが「焼き芋体験」を実施して良かった。コロナに負けない元気な子どもの姿に感動した。苦勞して森を整備して良かった。リピーターの子どもに「子どもスタッフ」の名札を付けてもらい森の案内をお願いしたら生き活きた姿で活躍してくれた。